

## 図書館経営の基本

梅沢幸平（滋賀県立図書館）

### 1 図書館の意義

住民の知的要求、可能性を高める  
自立した社会へ  
基本機能は資料・情報の提供

### 2 図書館経営とは

#### (1) 構造

##### 第一次的経営活動

貸出、受け入れ、整理、レファレンス、集会活動等  
専門的業務

##### 第二次的経営活動（管理）

企画、予算確保、職員研修、組織の整備、人事等  
一般業務  
総体としての働き創出

#### (2) 提供と利用の二つの視点

##### 利用者からの視点

###### 見える部分

蔵書構成・施設等物理的な環境

###### 人的資源

###### 見えない部分

見える部分を支援する環境整備

現場からフィードバックしサービスに還元していくシステム

### 2 サービスの構造

#### (1) 方針

問題意識の共有化

目的達成のための方策を具体的にし職員に周知

#### (2) システム

日常業務、現場から

利用者が出会う物理的環境と手続き

### (3) 司書

知識と経験の蓄積

サービスを提供する主体は司書

方針、システム、司書 3要素の統一の流れをつくる

### 3 組織の管理

現場が活性化するために

サービスは不定型

裁量権 仕事の意味づけと組織としての整合性

カウンターを支援していく仕事の組織化

### 4 館長の役割

図書館の方向性を示せる

図書館の立場を説明できる

職員を評価し育てる

全ての仕事をサービスに向かって組織化

### 5 図書館への評価

顧客満足度 現場で作り上げる努力

新聞掲載など 外部の評価

トップや議会からの視点

「住民の納得」は行政の黒字